



9 月号

平成27年9月1日発行

荏田小だより

横浜市都筑区荏田南町694番地 [Tel.911-0149]

アドレス [http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]

音の記憶

校長 澤田 有子

がらあんとした校舎に元気な子どもたちの声が帰ってきました。子どもたちの声が溢れている校内は、本当によいものです。子どもたちは、この長い夏休み期間中にどのような経験をしてきたのでしょうか。二年生の子どもが夏休み明けの朝会で、「お留守番が上手にできるようになりました。」と話していました。二年生の子どもが一人でお留守番をすることは、さぞや心がどきどきしたことでしょう。でも、自立への道の一步を確実に踏み出したと考えてもよいでしょう。そのほかにも普段の生活ではあまり経験ができないことを体験する中で、子どもたちはきっと多くのことを学び、成長したにちがいありません。

さて、前期も終盤を迎えます。今後も自らが体験することで、自分ごととして物事をとらえ、自分なりに考えられる子どもたちを育てていきたいと考えています。

「わすれもの」
高田 敏子

入道雲にのって
夏休みはいつてしまった
「サヨナラ」のかわりに
素晴らしい夕立をふりまいて

けさ 空はまっさお
木々の葉一枚一枚が
新しい光と
あいさつをかわしている

だが キミー夏休みよ
もう一度もどってこないかな
忘れものをとりにさ

迷い子のセミ
さみしそうな麦わら帽子
それから ぼくの耳に
くっついて離れない
波の音

人は、五感の中にたくさんの記憶を仕舞い込みます。子どもたちはこの夏休みに、どんな「音の記憶」を仕舞い込んだのでしょうか。それは、きっといつか子どもの頃の懐かしい夏の記憶を呼び覚ますためのボタンとなることでしょう。波の音に蜩の鳴き声、氷を削る音、遠い子どもの日の記憶。



大根の種まき 8/26

地域ボランティア(保護者OB)の方が、畑を耕し、大根の種まきをしてくださいました。一週間たった今、かわいい芽が出てきています。この大根は、餅つき祭りの時に振る舞われる豚汁の具になります。楽しみです。ありがとうございます。